

八幡門前自治会の今月のお知らせ

1. 郷土紹介板の設置

葛飾八幡宮境内（参道と全日警ホールの間）の植栽部分に別紙のような郷土紹介板を市の補助金も受けて設置しました。この地域の成り立ちや神社を中心とした1200年ほどの歴史や見どころを紹介しております。

この地はいいところだと思います。「前に巨海（東京湾）横たわり、後ろに遠村連なり、魚重性動す」と元亨元年銘の梵鐘げんこうに刻まれておりますが、魚重ぎよちゆうが生き生きと暮らせるから人間も豊かに暮らせるのです。地域に愛着と誇りを持ってお過ごしください。

市川砂州は波が造った広大な自然堤防でもあります。古来からの寺社が立地している場所は災害が少ないと言われておりますが、行徳などが大きな被害を受けた大正6年の大津波も総武線（古来の海岸線は総武線と14号の間）で止まっております。天災に油断禁物ですが1200年を生きてきた千本公孫樹が見守ってくれています。

下総国府（国府台）に近く、国分寺に代わる下総国総鎮守として神社が建立され、信仰の拠点となり、平坦な砂州上には官道の東海道が通り、江戸時代も房総の大名の参勤交代の道として道中奉行支配下に置かれ、北からの木下街道きおろし、南への行徳街道がクランク状に交わる場所だから関東一とも称されたボロ市の賑わいになり、江戸（東京）という日本の中心地へ五里（20km）の近さは、今では3線の駅が集まる拠点となって利便性を増しています。

（注）前月報告した防犯灯81（神社西参道の「西の鳥居」の内側の電柱）を防犯カメラ付きに変更する計画は、市が市の費用負担で防犯灯を整備していくという計画が発表されたので様子を見る為に中断いたします。

2. 街のパトロールと集団資源回収のお知らせ

街のパトロールは

12月14日（土）午後8時00分より

集合場所：八幡神社参道踏切際鳥居前

（自治会 HP）

資源ゴミの回収は

★毎週火曜日 朝8時 新聞紙・紙類・段ボール
・布類など

量により、自治会に回収協力金が出ますので、
ご協力をお願いいたします。

★毎週木曜日 ビン・缶類…当面の間、市での回収です。

